

## 平城宮跡草刈り・レポ

田中 善英

9月28日午前8時、ならやまベースキャンプに、景観グループを中心に各グループから草刈りの猛者が加わり、16名が集合した。



軽四輪トラック2台にモア1台スパイダーモア3台、刈払機10台と関連装備を積込み、乗用車4台と共に8時30分

に出発した。目指すは平城宮跡の東側、東院庭園の南に位置した田んぼ、面積は5000m<sup>2</sup>。



9時、現場に到着。軽四輪トラックから機材を下ろして草刈りの準備完了。作業に取りかかる前に全員で写真を取った。天気は晴れ、薄曇りで日差しも弱く、草刈りにはもってこいの日になった。

「さあ、やるぞ」。

しかし16名が4カ所の田んぼに分かれて、作業を開始したとたん、あっちこっちで、「アレレレ」となった。思惑通りに草が刈れない。夏草をなめていたと言わればそれまでだが、草の背丈は1.5mを越えていて、おまけに夏の暑さにも負けず、元気に太く育っていた。モア、

スパイダーモアは何か頑張っているが、ナイロンカッター付きの刈払機では刃が立たない。また、チップソー



付きの刈払機でも、伸びた草を途中で切ってから、もう一回根元を切る“必殺2段切り”をしないと倒れない。それでも、ならやまの猛者が奮闘を続け、徐々に草が倒れていく。



日差しは弱いが、気温は高い。熱中症の心配をしながら、声を掛け合って30分毎に休憩をとりながら草と格闘する。11時過ぎになって、午前中の作業を終了。昼食タイムとなった。

全員で線路横のスペースに移動して昼食を食べながらの作戦会議となった。「まだ、目処が付かない」、「午後の作業の状態を見ながら、最悪、一日では終わらないのでは」という弱気な発言も出た。しかし、ご飯を食べて、休憩を取り、徐々に体力、気力も戻ってきた。



誰かが「さあやるぞ」というかけ声をかけると全員が動き出す。そうなれば話は早い。昼食タイムもそこそこに各自の持ち場に戻って草との格闘を再開した。全員の気力が通じたのか、草が倒れて、見通しがすいぶん良くなってきた。「アレ、何とかなりそう」と思い始めると、もう大丈夫。当初の目標であった14時にはほぼ草刈りが終わった。



そして、「やったぜ」という満足感とともに、ならやまに戻る。なんとか、お天氣にも恵まれ、無事に予定通り“平城宮跡草刈り秋の陣”を終えることができました。

本当に疲れさまでした。